

下水道 環境保護は家庭から

私たちが使った水は、海に流れ雲になり雨となって、ふたたび私たちのところへ戻ってきます。水は自然の中をぐるぐると回っているのです。これを“水の循環”と言いますが、この循環のバランスがうまく調和して、何億年もの間“青い地球”はその美しさを保ってきました。

だからこそ、今、私たちは自分たちが使った水を、また元に戻して自然に返し、美しい地球を未来へとバトンタッチをしなくてはなりません。

使った水をきれいにして自然に返す…その1つの方法として“下水道”があります。

例えば、揚げ物に炒め物など、現在の私たちの生活には欠かすことの出来ない「油」。あなたのご家庭ではどのように処理されていますか？

そのまま流してしまう



燃えるごみとして捨てる



拭き取ってから洗う



再利用する



※イラスト 東京都下水道局より提供

下水道に油を流してしまうと…

使い終わった油をそのまま下水道に流すと、下水道管が詰ってしまいます。

『水と油の関係』とはよく言われますが、水と油は混ざり合うことはありません。

油が溶けている間は水と一緒に流れていきますが、ご家庭内や道路の下水道管の中で冷えて固まり、悪臭やつまりの原因となるのです。

きれいにするためには…

飲み残しや油をそのまま下水道に流してしまうと、魚が住めるような水に戻すのに大量の水が必要となります。その分、余計な処理費用がかかってしまいます。

例えば、

コップ一杯分(200ml)の牛乳をそのまま流してしまうと、その水を元の水に戻すには、お風呂 **10 杯分**(3,000 ㍻)の水が必要となります。

また、コップ一杯分(200ml)の油をそのまま流してしまった場合、その水をもとのきれいな水にもどすにはなんとお風呂 **200 杯分**(60,000 ㍻)もの水が必要なんです。ご存じでしたか？

油を流さないように気をつけて、下水道を大切に使いましょう。



牛乳200ml

元の水に戻すに必要な水

そのまま
流してしまうと



油200ml

元の水に戻すに必要な水

流してしまうと

